

秀友新聞

着任のご挨拶

一〇二〇年五月一日より当院に着任致しました山浦英樹と申します。西樹八軒のイムス札幌消化器中央総合病院より参りました。私が初めて当院の非常勤医師として着任したのが、二〇一七年四月であり、この三年間は毎週水曜日の午前中の外来を担当して、今年で四年目になりました。



山浦英樹 糖尿・内科部長

資格としましては、認定内科医、糖尿病専門医、プライマリケア指導医、産業医、ICDを取得しております。近年は透析医療にも従事しております。すが、当院には透析設備が備わっていないため、当面は糖尿病を中心とした内科一般診療にて、地域の皆様のかかりつけ医として日々精進しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

内科医は、世界的にはあまり派手さやインパクトが強い分野は少なく、医療ドラマの主人公になることはほとんどありません。一段は何をして、たまに世間のこと、

方々から質問されることがあるのですが、今回のCOVID-19（新型コロナウイルス）の医療現場では、救命救急医や麻酔科医と共に最前線で患者治療に当たっております（すべての内科医が従事している訳ではありませんが）、刻々と変化する病態に対し所見を冷静に評価して、次に予想されることを頭の中に入れて、検査や治療を組み立てていく重要な役割を果たしております。

糖尿病に関しては、患者様個々に合わせたオーダーメイド治療に心がけております。HbA1c検査（過去一か月

発行責任者
大久保事務長
第8号
発行日
令和2年5月25日



病院HP

半程度の平均的な体内の糖分の割合・当院でも検査できます（が高いと言います）が、年齢、糖尿病罹病歴、合併症の有無、患者背景、基礎疾患等の状況が違います。の状況が違います。薬の種類、インスリン注射導入の検査、インスリンの種類や回数を調整して治療に当たっております。

当院を受診される方は脳神経外科疾患をお持ちの方が多いため、合併症を発生されたい割合が多いと予想されるので、心当たりのある方は早期の受診をお勧め致します。

また、高血圧、脂質異常症、心臓機能異常、風邪・症状等の方の精査や治療にいたしました。御相談いただけます。内科臨床医として

過二十年以上が経過し、在宅医療等の様々な病態に勤務した経験から、急性期医療だけが注目されがちですが、今の超高齢化社会におきましては、御高齢の方の重要性を感じております。他科の診療科や看護師、薬剤師、リハビリテーションと連携を取りながら、より良い方向を見つけていくことがこれからの医療の進めべき道ではないかと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新入職員紹介



新入職員 集合写真

リエンターションを終えて、現在は各所属部署にて研修や業務に励んでおります。フレキシブルな力ががんばりますので、皆様、何卒よろしくお願致します。



辞令交付